平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月13日

上場会社名 トレーディア株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9365　URL
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）鈴木 安雄
問合せ先責任者（役職名）取締役財務本部長　（氏名）山口 勝　TEL 078-391-7170

四半期報告書提出予定日　平成24年8月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,578	△4.4	△19	―	3	△89.4	4	△79.2
24年3月期第1四半期	3,744	5.9	8	―	32	―	23	―

（注）包括利益　25年3月期第1四半期　△70百万円　（―%）　24年3月期第1四半期　△12百万円　（―%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	0.33	―
24年3月期第1四半期	1.62	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	9,674	2,165	22.4
24年3月期	9,002	2,310	25.7

（参考）自己資本　25年3月期第1四半期　2,165百万円　24年3月期　2,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	5.00	5.00
25年3月期	―				
25年3月期（予想）		―	―	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想（平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,735	△0.8	75	△41.6	87	△43.0	52	―	3.54
通期	15,520	2.1	260	68.7	275	36.2	160	31.2	10.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	14,700,000 株	24年3月期	14,700,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	41,253 株	24年3月期	39,587 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	14,659,858 株	24年3月期1Q	14,662,197 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を受けております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
（４）追加情報 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として緩やかな回復がみられるものの、欧州債務危機を巡る世界景気の減速感や中国をはじめとするアジア経済の成長鈍化、電力供給問題等により、依然先行き不透明な状態が続いております。

当社グループはこのような状況下におきまして、海外拠点の整備と拡充を行うとともに、積極的な営業展開に努めてまいりましたが、総取扱量は前年同期間比1.3％減少し、売上高は35億78百万円余(対前年同期間１億65百万円余減)となりました。損益面につきましても、外注費比率が微減となりましたが、売上高が減少したことにより、営業総利益は前年同期間比11.5％減少し２億63百万円余(対前年同期間34百万円余減)となりました。営業損失は、19百万円余(前年同期間は営業利益８百万円余)、経常利益は３百万円余(前年同期間は経常利益32百万円余)、四半期純利益は４百万円余(前年同期間は四半期純利益23百万円余)の計上となっております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①輸出部門

輸出部門におきましては、金属製品が増加しましたが、非金属鉱物品、機械機器製品が減少したことにより、輸出部門の売上高は前年同期間比3.2％減少し８億80百万円余、セグメント損失は23百万円余（前年同期間はセグメント損失12百万円余）の計上となりました。

②輸入部門

輸入部門におきましては、繊維製品が増加しましたが、雑貨、機械製品が減少したことにより、輸入部門の売上高は前年同期間比4.8％減少し13億89百万円余、セグメント損失は29百万円余（前年同期間はセグメント利益15百万円余）の計上となりました。

③国際部門

国際部門におきましては、国際輸出は北米向け及び中国向けが低迷したことにより、国際輸出部門の売上高は前年同期間比9.5％減少し３億44百万円余の計上となりました。国際輸入は、夏物家電が予想に反して伸びなかったことにより、国際輸入部門の売上高は前年同期間比4.1％減少し９億14百万円余の計上となりました。その結果、国際部門の売上高は前年同期間比5.7％減少し12億59百万円余、セグメント利益は27百万円余（前年同期間はセグメント利益１百万円余）の計上となりました。

④その他

船内荷役、港湾関連及び倉庫業等の売上合計は前年同期間比7.1％増加し70百万円余となり、セグメント利益は前年同期間比19.4％増加し、５百万円余の計上となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ６億72百万円余増加し、96億74百万円余となりました。流動資産は３億22百万円余増の35億93百万円余、固定資産は３億49百万円余増の60億80百万円余であります。流動資産増加の主な要因は、現金及び預金の増加等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、国内物流倉庫建設による建物の増加等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ３億23百万円余減少し、46億33百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、11億40百万円余増加し28億75百万円余となりました。流動負債減少の主な要因は、短期借入金の減少等によるものであります。固定負債増加の主な要因は、長期借入金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、１億44百万円余減少し、21億65百万円余となりました。これは、その他有価証券評価差額金及び利益剰余金の減少等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年５月14日公表の第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業損失は128千円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ128千円増加しております。

（４）追加情報

（その他有価証券に係る減損処理基準の変更）

従来、「その他有価証券」で時価のあるものにつきましては、時価が取得原価に比べ40％以上下落した場合には減損処理を行い、30～40％程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性を考慮して必要と認められた額について減損処理を行うこととしておりましたが、世界的な金融市場における混乱により、株価の変動幅が増大していることを踏まえ、当第１四半期連結会計期間より、時価が取得原価に比べ50％以上下落した場合には減損処理を行い、30～50％程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性を考慮して必要と認められた額について減損処理を行うことに変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は１億72百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	653,449	838,419
受取手形及び売掛金	1,872,020	1,804,168
繰延税金資産	98,621	101,712
立替金	576,022	652,784
その他	73,324	198,107
貸倒引当金	△2,100	△1,290
流動資産合計	3,271,338	3,593,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,297,611	1,947,841
機械装置及び運搬具（純額）	21,987	41,175
工具、器具及び備品（純額）	8,503	14,056
土地	1,778,853	1,778,853
リース資産（純額）	82,994	78,281
建設仮勘定	151,588	8,414
有形固定資産合計	3,341,539	3,868,622
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	65,674	72,504
無形固定資産合計	100,234	107,064
投資その他の資産		
投資有価証券	981,937	869,589
差入保証金	811,867	791,827
繰延税金資産	－	7,897
その他	536,741	476,606
貸倒引当金	△41,305	△40,922
投資その他の資産合計	2,289,241	2,104,998
固定資産合計	5,731,015	6,080,685
資産合計	9,002,354	9,674,587

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,417,228	1,333,436
短期借入金	2,974,757	2,436,538
リース債務	36,752	37,248
未払法人税等	32,273	5,847
賞与引当金	203,988	313,140
その他	292,474	507,329
流動負債合計	4,957,474	4,633,540
固定負債		
長期借入金	1,388,530	2,663,425
リース債務	50,930	45,647
繰延税金負債	34,743	－
退職給付引当金	141,144	111,852
役員退職慰労引当金	119,323	54,373
固定負債合計	1,734,671	2,875,299
負債合計	6,692,145	7,508,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	170,427	170,427
利益剰余金	1,380,009	1,311,621
自己株式	△8,823	△9,089
株主資本合計	2,276,614	2,207,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,594	△42,211
その他の包括利益累計額合計	33,594	△42,211
純資産合計	2,310,208	2,165,747
負債純資産合計	9,002,354	9,674,587

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
営業収入	3,744,747	3,578,800
営業費用	3,446,651	3,314,861
営業総利益	298,095	263,938
一般管理費	289,360	283,672
営業利益又は営業損失（△）	8,735	△19,733
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,350	13,164
持分法による投資利益	13,581	10,379
その他	15,839	20,262
営業外収益合計	41,771	43,805
営業外費用		
支払利息	18,025	20,442
その他	190	219
営業外費用合計	18,216	20,662
経常利益	32,290	3,409
特別利益		
固定資産処分益	826	469
特別利益合計	826	469
特別損失		
固定資産除売却損	23	0
投資有価証券評価損	－	100
特別損失合計	23	100
税金等調整前四半期純利益	33,093	3,779
法人税等	9,222	△1,186
少数株主損益調整前四半期純利益	23,870	4,965
四半期純利益	23,870	4,965

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	23,870	4,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,995	△75,806
その他の包括利益合計	△35,995	△75,806
四半期包括利益	△12,124	△70,840
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,124	△70,840
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	輸出	輸入	国際				
営業収入							
外部顧客への売上高	906,394	1,458,562	1,334,909	44,880	3,744,747	―	3,744,747
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,855	729	―	20,718	24,304	△24,304	―
計	909,250	1,459,291	1,334,909	65,599	3,769,051	△24,304	3,744,747
セグメント利益又は損失(△)	△12,896	15,471	1,646	4,514	8,735	―	8,735

(注)１.「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

２.調整額△24,304千円は、セグメント間取引消去額であります。

３.セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	輸出	輸入	国際				
営業収入							
外部顧客への売上高	879,953	1,388,876	1,259,255	50,714	3,578,800	―	3,578,800
セグメント間の内部売上高又は振替高	523	165	―	19,566	20,256	△20,256	―
計	880,477	1,389,041	1,259,255	70,281	3,599,056	△20,256	3,578,800
セグメント利益又は損失(△)	△23,127	△29,161	27,163	5,390	△19,733	―	△19,733

(注)１.「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

２.調整額△20,256千円は、セグメント間取引消去額であります。

３.セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

２.報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の「国際」「その他」のセグメント利益は微増し、「輸入」「輸出」のセグメント損失は微減しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

該当事項はありません。